

初診日に関する第三者からの申立書（第三者証明）

私（申立者）は、障害年金の請求者 ○山 △子 の初診日頃の受診状況などを知っていますので、以下申し立てます。

知ったきっかけ

どちらか一方を選んでください。

私（申立者）が申し立てる請求者の受診状況などは、

① 直接見て知りました。

2. 請求者や請求者の家族などから聞いて知りました。

なお、聞いた時期は（昭和・平成 年 月 日）（頃）です。

請求者との関係

見た（聞いた）当時の関係： 高校の同級生 現在の関係： 旧友

申立者ずつバラバラではなく、同じ（もしくは近い）記載のほうが良いです。

○傷病名： 糖尿病 ○初診日 昭和・平成 ○年 ○月 日（頃）

○医療機関名・診療科： □川市立病院 ○所在地： 県□川市○町1丁目

申立者が知っている当時の状況等

※記入いただく内容は、別紙「初診日に関する第三者からの申立書（第三者証明）を記入される方へ」の「裏面」をご覧ください。申立者が見たり聞いたりした当時に知った内容のみを記入してください。記入できない項目があっても構いません。

私は請求者、△山さんの高校の同級生です。部活も同じでほとんど毎日一緒におりました。昭和○年○月頃、高校の体育祭の準備のため忙しかったのですが、頬がこけたようにみえたので、冗談で「ダイエットしているの？」と聞いた覚えがあります。彼女は不思議そうに「なにもしていないけどどんどん痩せてくの」と話していましたが、私は「なにもしていないのにそんなに痩せるはずない」と疑っていましたがよく覚えています。それから2,3日後、体育の授業中に△山さんがめまいで倒れました。その日のうちに早退して、翌日緊急入院したと学校の先生に聞きました。放課後に、先生と友人と一緒にお見舞いに行き糖尿病と聞いて驚いたのを覚えています。「肥満の人が罹患する」といったイメージが強い病気でしたが、当時の△山さんは1か月で10キロ近く痩せていて、肥満とは言えませんでした。△山さんは2週間程度で退院し、学校に戻りましたが、昼食後に服薬する薬が多く大変そうだったこと、持久走などの授業は休んでいたと記憶しています。

【申立日】平成 ○年 ○月 ○日

<申立者>

住所：〒123-0045 ■県□川市○○○○

連絡先： 012 (345) 6789 氏名： △崎 ◆代 ㊞

※ 訂正する場合は、二重線で消した上で訂正印を押印してください。

※ 後日、申立者あてに申立内容の確認をさせていただく場合がございます。平日日中でもご連絡が可能な電話番号を記入してください。

※ ご記入いただいた個人情報は、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律に基づき適切に取り扱われます。